

● 指導の実際

総合的な学習の時間 「調べよう！私たちの町の歴史」

地域の歴史について調べ、「2代目観光大使」になろう



地域の方と木村城址のフィールドワーク



寺子屋跡でタラヨウの葉に字を書く



お地蔵さんの台座の文字の拓本をとる

道徳科 「ふるさとのおよさ『町おこしプラン』」



○みんなが住んでいる町のよさは何だろう。タブレットに書いてみよう。

歴史

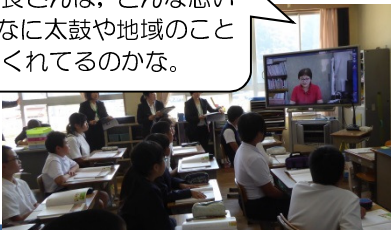
古墳



◎どうして正子さんたちは、自分たちの町に愛着がわいてきたのでしょうか。

自分たちの町の特長が分かってきたから。

○公民館長さんは、どんな思いで、みんなに太鼓や地域のことを教えてくれるのかな。



公民館長さんからのビデオレターを見て、考えたことを書く。

OPR活動に大切なものって何だと思いますか。

自分から進んで調べて、町の特長を知ること。

自分がこの町のことを詳しく知って好きになる。

自分たちの地域に関連させて考える



【道徳ノートの記述から】

- ・ぼくは、この町の特長を知って、自分たちでPRしてこの町を盛り上げていきたいです。
- ・私は、館長さん達が教えてくれたことを、次の世代にも教えていって続けたいと思った。

<成果と課題、今後に向けての方向性>

総合的な学習の時間と関連付けて、教材の内容を自分との関わりで捉え、地域のよさやそれを伝えることについて、多面的・多角的に考えることができた。地域の方のビデオレターが、自分たちがどのようなことを大切にしていきたいかを考えさせる上で効果的であった。

今後は、話し合い活動を一層充実させ、児童が相互に関わり合い、深め合うことにより、主体的・対話的で深い学びを実現し、道徳性を養っていきたい。